

平成 29 年 3 月 15 日
総合政策局情報政策課
交通経済統計調査室

造船統計速報(平成 29 年 1 月分)

本速報は、造船の生産等実績の早期把握に資するため、基幹統計「造船造機統計」の造船調査対象工場のうち主要工場の主要項目の生産等実績について先にとりまとめ速報化したものである。確報値は追って公表される「造船統計月報」を参照されたい。

1. 概況

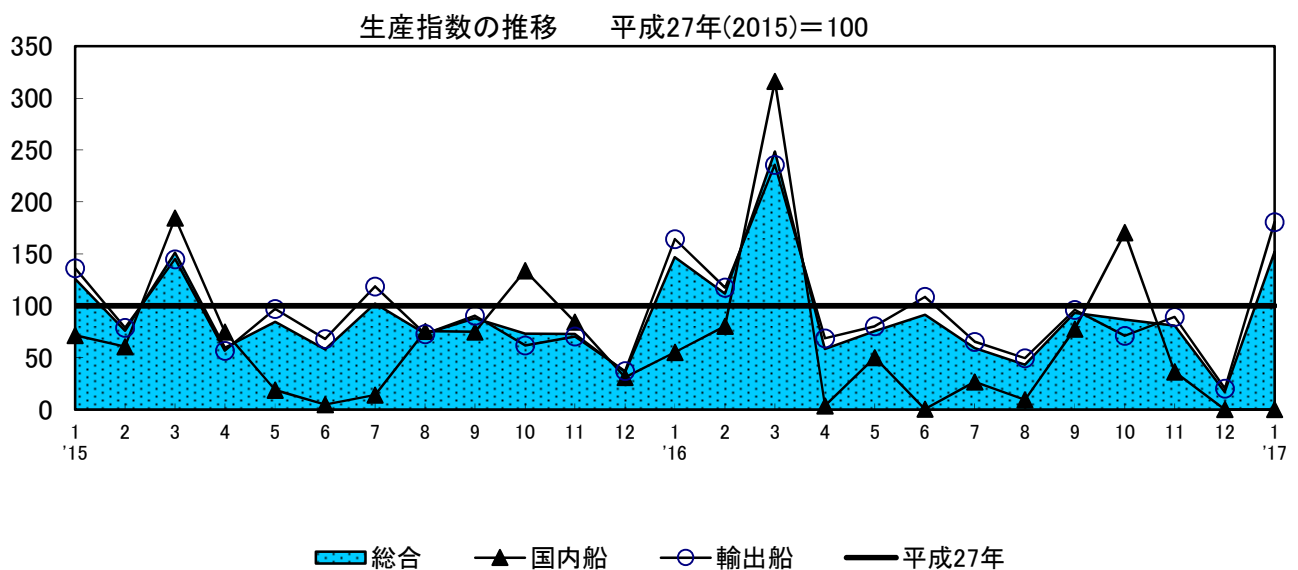
平成 29 年 1 月分の造船主要 54 工場の鋼船受注・建造実績は、受注 0 隻、起工 13 隻、74 万 4 千 G/T、しゅん工 46 隻、163 万 7 千 G/T、しゅん工船価 1,791 億円、生産指数(※) 152.0 であり、生産指数の前年同月比は、3.5%増であった。

このうち、国内船のしゅん工実績は、合計 0 隻であった。

また、輸出船のしゅん工実績は、合計 46 隻、163 万 7 千 G/T、生産指数 180.8 であった。内訳は、貨物船が 37 隻で、そのうち、一般貨物船 3 隻(パナマ、シンガポール向け)、鉱石専用船 1 隻(マーシャル諸島向け)、ばら積み船 14 隻(パナマ、香港等向け)、自動車専用船 2 隻(パナマ向け)、鉱石兼ばら積み船 15 隻(パナマ、シンガポール等向け)、その他貨物船 1 隻(パナマ向け)、木材兼ばら積み船 1 隻(パナマ向け)であった。油送船は 8 隻で、一般油送船 1 隻(台湾向け)、LPG 船 1 隻(パナマ向け)、化学薬品船 5 隻(シンガポール、マーシャル諸島等向け)、プロダクトキャリア 1 隻(パナマ向け)であった。その他船舶は 1 隻(フィリピン向け)であった。

鋼船修繕実績は、94 隻、工事金額 81 億円であった。

2. 生産指数の推移



注1 本速報における国内船及び輸出船は船舶の発注者の国籍により区分される。

注2 平成 26 年 1 月分調査より「受注」を調査事項として追加し、その結果を公表している。

※ 生産指数は、当該月のしゅん工船価(合計)を、基準時(平成 27 年)のしゅん工船価(合計)の月平均値で除して求めた指数である。
本速報の生産指数は、主要工場分のみ速報値である。

お問い合わせ先：

総合政策局情報政策本部情報政策課交通経済統計調査室

電話：03-5253-8111 FAX：03-5253-1567

03-5253-8348 (直通)

担当：小林(内線：28-741) 大橋(内線：28-742)

3. 鋼船建造実績

(単位:隻, G/T, 千円、指数:平成27年平均=100)

用途別		受注		起工		しゅん工				
		隻数	G/T	隻数	G/T	隻数	G/T	船価	生産指数	前年同月比
合計		0	0	13	744,020	46	1,636,909	179,147,793	152.0	103.5
国内船	小計	0	0	1	122,800	0	0	0	0.0	—
	貨物船	0	0	0	0	0	0	0	—	—
	貨客船	0	0	0	0	0	0	0	—	—
	客船	0	0	0	0	0	0	0	—	—
	自動車航送船	0	0	0	0	0	0	0	—	—
	油送船	0	0	1	122,800	0	0	0	—	—
	漁船	0	0	0	0	0	0	0	—	—
	その他	0	0	0	0	0	0	0	—	—
輸出船	小計	0	0	12	621,220	46	1,636,909	179,147,793	180.8	—
	貨物船	0	0	8	316,600	37	1,370,534	142,446,782	—	—
	油送船	0	0	3	304,300	8	266,054	..	—	—
	その他	0	0	1	320	1	321	..	—	—

※ 受注後にキャンセルが発生した場合は、その隻数及びG/Tについて受注隻数、G/T欄の右横に[]書き(外数)で表示する。

4. 鋼船修繕実績

	隻数		工事金額(千円)	
合計	85	(9)	7,509,471	(582,776)
国内船	77	(9)	7,297,788	(582,776)
外国船	8	(0)	211,683	(0)

※ ()内は、排水トン表示による船舶で、外数である。